

重粒子線治療

— がん治療の新たな選択肢 —

腎臓がん



山形大学医学部
東日本重粒子センター
EAST JAPAN HEAVY ION CENTER
FACULTY OF MEDICINE - YAMAGATA UNIVERSITY
山形大学医学部附属病院

『重粒子線治療』を

お勧めする 3 つの理由

1

効き目が強い

他の放射線に比べ破壊力が強く、今まで効きにくいとされてきた骨肉腫などにも効果を発揮します。

2

正常臓器への負担軽減

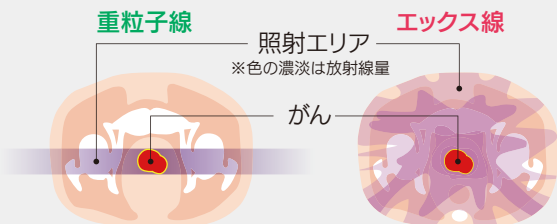
がんに集中的に照射が可能で、周りの正常臓器にはダメージが少ない治療です。

3

短期間で治療できる

他の放射線と比べ、重粒子線は照射回数が少なく、概ね半分以下の短い期間で治療できます。

重粒子線とエックス線の照射範囲の違い



重粒子線のほうがエックス線より少ないビームでがん集中させることができ、正常組織に当たる範囲や量を抑えることができます。

※すべての照射が完了した際の照射影響範囲
イラストは前立線がんの場合のイメージです。

腎臓がんについて

重粒子線治療の対象となる場合

腎臓がんが腎臓のみに留まっている場合
もう一方の腎臓の機能がある程度保たれている場合

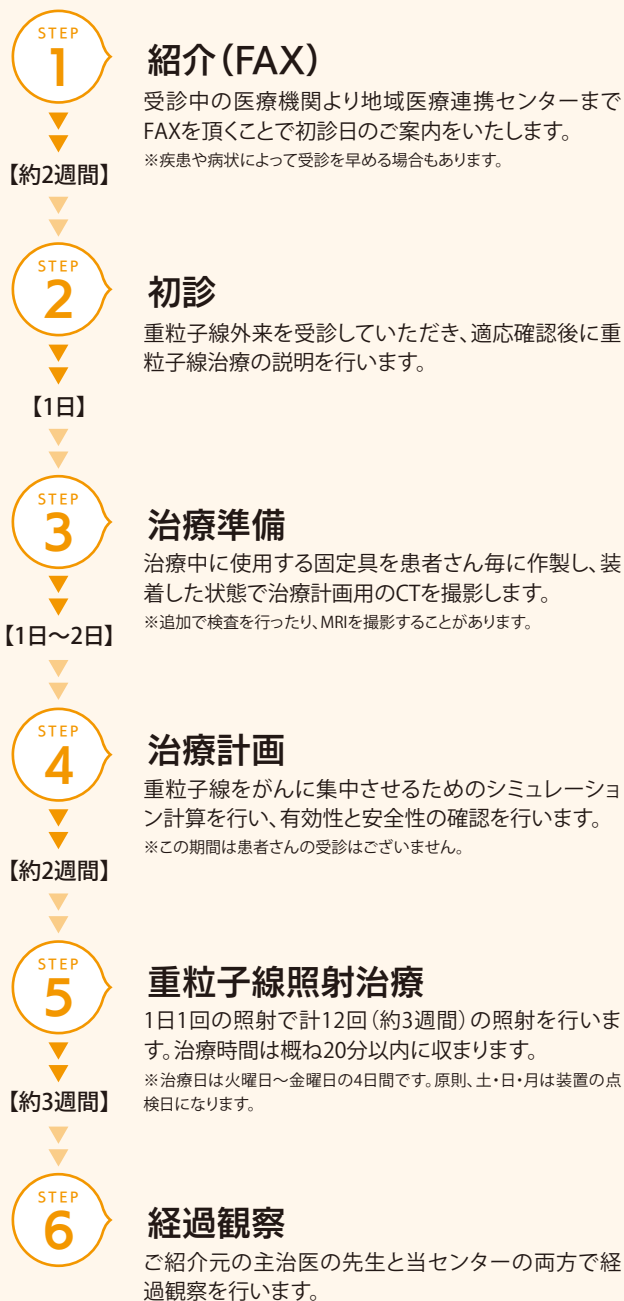
重粒子線治療の 対象とならない場合

- リンパ節転移や遠隔転移がある場合
- 消化管を避けて照射することが不可能である場合
- その他医師が治療困難と判断した場合



プライバシーに配慮し、
個室の待合室を
ご用意しております。
通いながら治療できる環境を
ご用意し、患者さんの
負担軽減に努めます。

治療の流れ



治療をご希望の方へ

まずは主治医の先生に
ご相談ください

治療に際して

照射された腎臓の近くに皮膚炎や硬結が生じることが
あります。
治療後に腎機能が低下したり、尿の出が悪くなったり、
血尿が生じたりすることがあります。その他、治療後数ヶ
月以降に発生する副作用として、消化管の潰瘍や出血
が起こる場合があります。

先進医療適用の治療です

腎臓がんに対する重粒子線治療費は先進医療が適用さ
れ、照射費用約314万円※は患者さん負担となります。
照射に付随する診察・検査・投薬などの費用は、公的保
険が適用され1～3割負担となります。
※ほかに診察・検査・投薬などの費用がかかります

民間保険の先進医療特約に加入されている場合は、契
約内容に応じて保険が利用できます。詳細は契約してい
る保険会社にご確認ください。

回転ガントリー照射室



上下左右や斜めなど、いろいろな方向
から治療部位にピンポイントで重粒子線
を照射しますので、患者さんは楽な姿勢
のまま治療を受けることができます。国
内で回転ガントリーを使用している重粒
子線治療施設は、当センターおよびQ S
T病院(千葉市)の2施設だけです。

アクセス

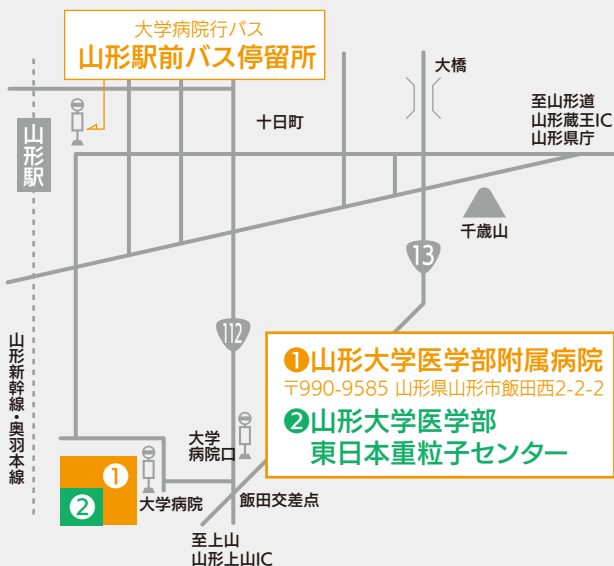
● タクシー

JR山形駅から約10分

● バス

仙台駅前から上山行き高速バス(山交バス・宮城交通) 23番
乗り場乗車、大学病院口下車(約75分)

山形駅前から大学病院・東海大山形高行きバス(山交バス)
乗車、大学病院下車(約15分)



お問い合わせ

山形大学医学部東日本重粒子センター事務局

TEL 023-628-5404

受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く)

東日本重粒子センター

検索



山形大学医学部
東日本重粒子センター
EAST JAPAN HEAVY ION CENTER
FACULTY OF MEDICINE
YAMAGATA UNIVERSITY
山形大学医学部附属病院

©2020 Yamagata University
All Rights Reserved.



この印刷製品は、環境に配慮した
原料と工場で製造されています。



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C170021